

陰圧閉鎖療法を用いて 軽快に至った在宅褥瘡患者の事例

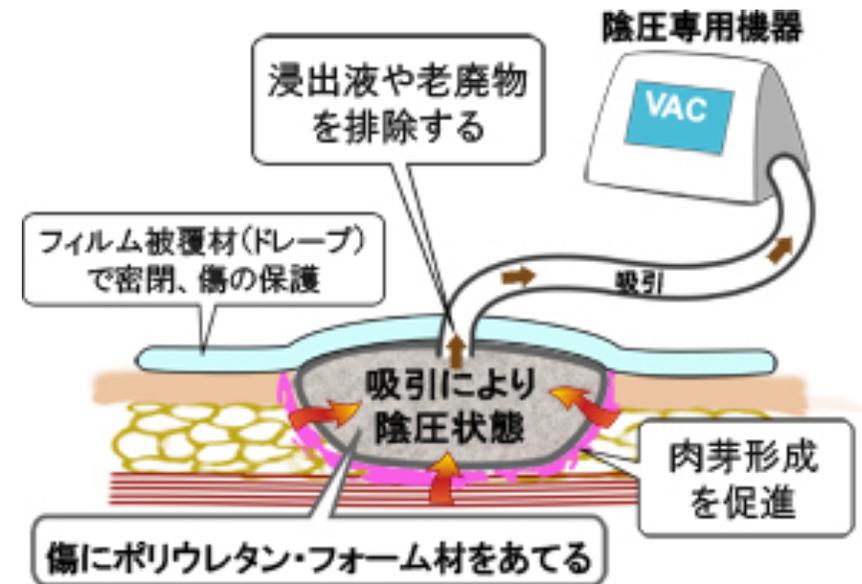
～病棟との連携～

よしの訪問看護ステーション

在宅部門 吉井 恵子・外園 智恵子

<陰圧閉鎖療法について>

- 創の保護
- 創収縮
- 肉芽形成の促進
- 浸出液と感染性老廃物の除去
→ 創傷治癒を促進



- 専用機器 ・ ・ V.A.C.治療システム
RENASYS創傷治療システム

図9 「V.A.C.®治療システム」 (ケーシーアイ)



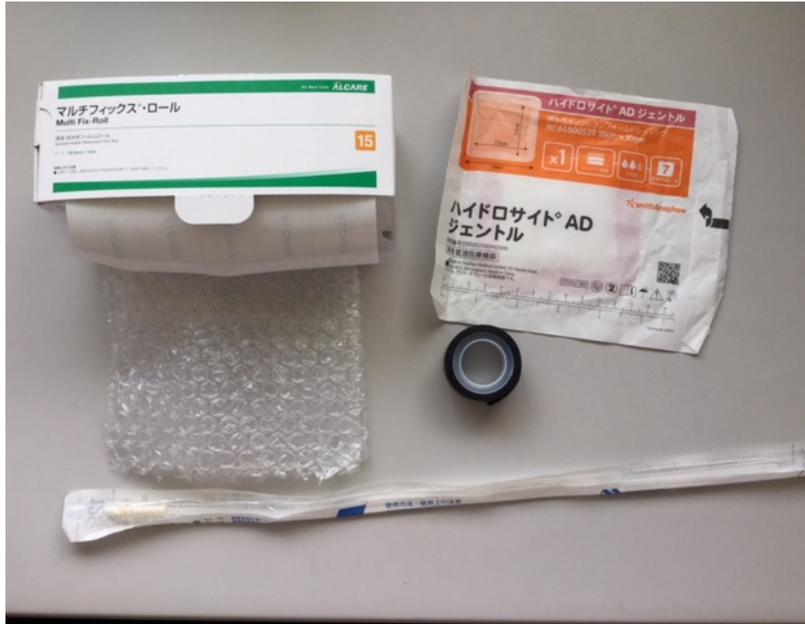
図10 「RENASYS®創傷治療システム」 (スミス・アンド・ネフュー)



RENASYS®E MAX 陰圧維持管理装置

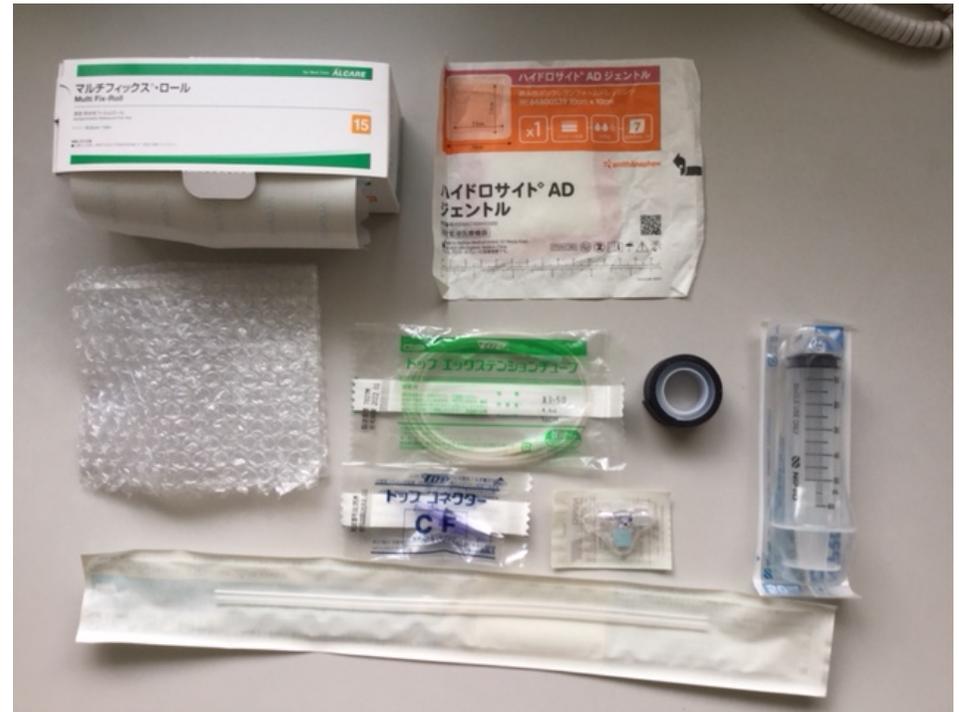


RENASYS®GO陰圧維持管理装置



←病棟で使用した物品

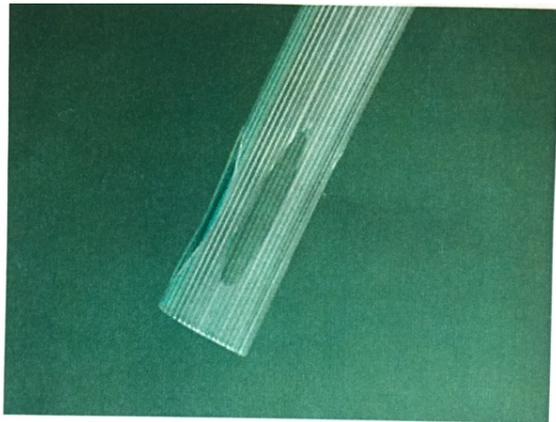
在宅で使用した物品→



←被覆材をカットしドレーンを貼付



ペンローズドレーンの
先端をカット





- <事例紹介>
- 70歳代 男性
- 傷病名：殿部褥瘡、2型糖尿病、脳挫傷後遺症により寝たきり状態（施設に入所中）
- 経過 初回訪問（往診）にて、殿部褥瘡あり
（DU：e3s6i0G5N6p0=20）
特別訪問指示での処置開始
（ワセリン・ブロメライン塗布・オムツラップ保護）





10日目 発熱持続、創周囲の発赤
膿性の滲出液、悪臭あり
主治医へ報告
デブリードマン実施
D4:E6s3I9G6N3P9=36



14日目 熱下降したが、食事量低下、
創部の感染微候あり
CRP11.9mg/dl、WBC 7400/ μ l
入院となる

<入院中の経過>

- 14日目～ビーフリード500ml (3日間施行)
ロセフィン2g (11日間施行)
創縁の壊死部へブロメライン
ポケットへカデックス
オムツラップ保護
1日2回 病棟Ns.と在宅Ns.
共同で処置実施
(D4:E6s8I9G6N3P9=41)



- 17日目 再度デブリードマン実施
9時方向に6cmの
ポケット形成あり



- 57日目 陰圧閉鎖療法開始

院内配管の吸引器と創傷被覆剤使用

週2回入浴時に交換

吸引圧：125～150mmHg（15～20kpa）
（吸引時間：24時間）



動画 1分30秒 (4倍速)



＜陰圧閉鎖療法開始前＞
(56日目)

D4:E6s8i0G4N3P12=33



＜陰圧療法1週間施行後＞

(63日目) D4:E6s8i0G4N3P12=33

- 70日目 陰圧療法開始約2週間後
退院

D4:e3s8i0G4N3P12=30



- 94日目 ポケット残存、肉芽形成困難にて
フィブラストスプレー使用

D4:e3s6i0g3n0P9=21

貧血、低ナトリウム血症が悪化した
管理栄養士が介入(Hb:10.0g/dl Na:124mEq/l)

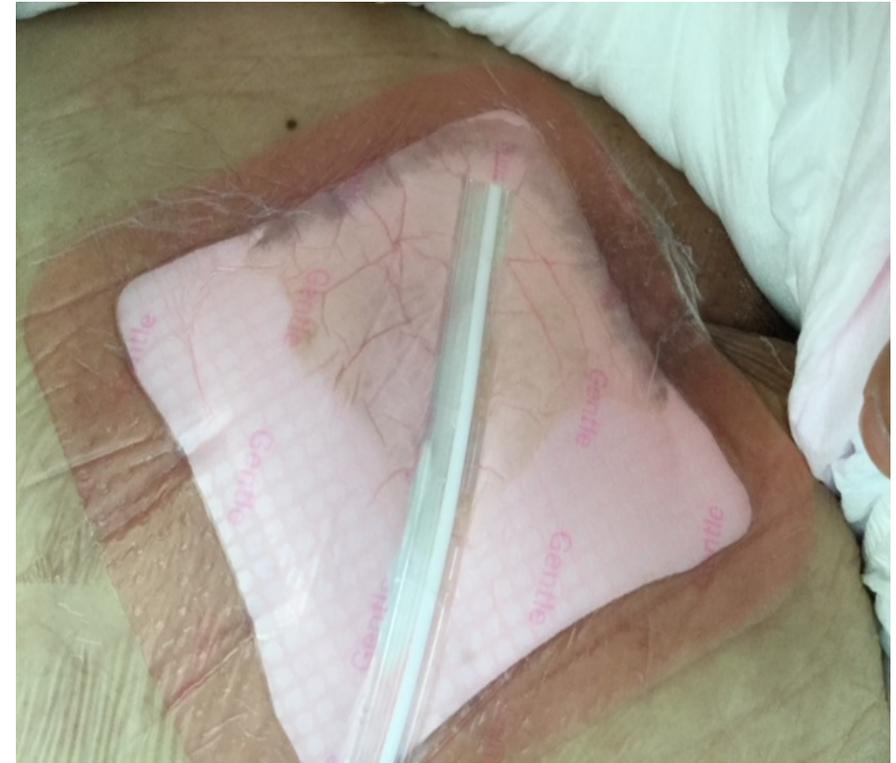




陰圧閉鎖実施前

D3:e3s6i0g3n0P6=18

<112～134日目>



陰圧閉鎖療法施行中

(創傷被覆剤、

ペンローズドレーン

三法活栓、延長チューブ

注射器を使用)

陰圧約150mmHg、24時間



- 136日目
陰圧閉鎖療法中止
アクアセルフフォーム
貼付のみ

D3:e3s3i0g3n0P6=15



- 164日目
ポケット縮小
最終訪問にて

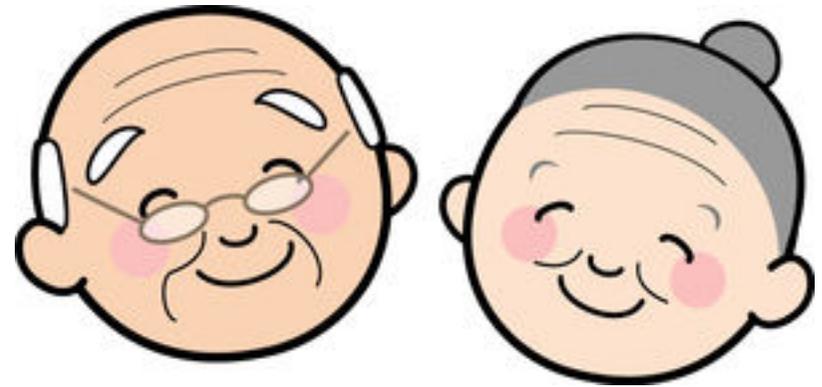
D2:e1s3i0g1n0P6=11

	初回	10日目	14日目	60日目	70日目	112日目	134日目	164日目
		初回デビュー時	入院時	陰圧開始	退院時	簡易陰圧前	陰圧後	最終訪問時
D (深さ)	U	4	4	4	4	3	3	2
E (浸出液)	3	6	6	6	3	3	3	1
S (サイズ)	6	3	8	8	8	6	3	3
I (炎症/感染)	0	9	9	0	0	0	0	0
G (肉芽組織)	5	6	6	4	4	3	3	1
N (壊死組織)	6	3	3	3	3	0	0	0
P (ポケット)	0	9	9	12	12	6	6	6
合計	20	36	41	33	30	18	15	11

<まとめ>

- * 創部の観察とアセスメントが大事！
 - ・ DESIGN-Rを活用する
- * 感染兆候を早期発見、早期治療する事で対象者の負担を軽減し、長期化を防ぐ。
- * 滲出液は、適度な湿潤環境を保つためのコントロールが重要。
本人の状態や状況に合わせた材料を選択する事で専用機器でなくても代用可能
- * 多職種での連携プレーの切れ目のないケアが重要である。

チームケアで



褥瘡ゼロを目指して！

だれもが、笑顔で過ごせるように..

＜参考文献＞

- ・在宅褥瘡予防・治療ガイドブック 第3版
一般社団法人 日本褥瘡学会
- ・そこが知りたい！褥瘡ケアの秘訣 30
ガイドラインの活かし方と褥瘡マネジメント
切手 俊宏

ご清聴ありがとうございました

